



第 15 回 ITS シンポジウム 2017

CALL FOR PAPERS

2017 年 12 月 7 日(木)～8 日(金)

九州大学 伊都キャンパス 椎木講堂

主催： 特定非営利活動法人 ITS Japan / 九州大学

協賛(予定): (社)計測自動制御学会, (社)交通工学研究会, (社)自動車技術会, (社)情報処理学会, (社)人工知能学会, (社)電気学会, (社)電子情報通信学会, (社)土木学会, (社)日本機械学会, 日本交通心理学会, (社)日本ロボット学会, 自動車技術会 ITS 部門委員会, 情報処理学会高度交通システムとスマートコミュニティ(ITS)研究会, 情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, 情報処理学会ユビキタスコンピューティングシステム研究会, 電気学会 ITS 技術委員会, 電子情報通信学会 ITS 研究会, 電子情報通信学会パターン認識・メディア理解研究専門委員会

テーマ: 人を繋ぎ, 人を援ける ITS

グローバル化が進み, 人や物, 情報の行き来が益々活発になってきた現在, 2020 年の東京オリンピックを控えた日本でも, 国内移動は言うに及ばず, 世界各地からへの移動も一段と増えてきています. さらに近年は, 自然災害や過疎の問題も深刻化し, 公共交通インフラの早期復旧, 確保に加え, 交通弱者, 特に公共交通不便地域における高齢者や, 移動情報を十分に得ることのできない外国人, IT 弱者などへの対策は喫緊の課題となっています. このような中, 人々の事情や目的を踏まえ, 人を繋ぎ, 援ける, 移動支援の重要性は増しており, そこに果たすべき ITS の役割は極めて大きなものがあります.

上記を鑑み, ITS シンポジウム 2017 では, 古くからアジアの玄関口である福岡を会場として, 次年度に開催される「第 16 回アジア太平洋地域 ITS フォーラム(2018 年 5 月 8 日～10 日, 福岡)」との連携を図りながら, これからの安全・安心・快適で, 人の思いやりも感じられるスマート社会の実現に向けた新世代の ITS について議論を行います. 冬の福岡の寒さを吹き飛ばす, 熱い議論を盛り上げられるよう, 多くの方々の論文のご投稿とご参加を, 心よりお待ち申し上げます.

1. 投稿方法

投稿方法には「査読あり」「査読なし」があり, 投稿時にいずれかを選んでいただきます. 採用された論文は査読の有無が明記されます.

●査読あり

(1) フルペーパー提出期限: 7 月 3 日(月)

(2) 提出物: (1)フルペーパーおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語. A4 サイズで 6 ページ以内. 指定の様式に従って, MS-Word ファイルまたは PDF ファイルで作成し, (1)と(2)を下記送付先へ電子メールでお送りください.

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡: 9 月中旬

3 名の査読者による「新規性・独自性」, 「社会的/技術的有用性」, 「説明の明確さ, 論理性」, 「内容充実度」の各項目の評価にもとづいて, プログラム委員会の判断により採否を決定いたします.

(4) 最終原稿の提出期限: 11 月 10 日(金)

(5) 論文誌への推薦:

特に優れた論文は英文論文誌 International Journal of Intelligent Transportation Systems Research に推薦されます.



●査読なし

(1) アブストラクト提出期限: 8月21日(月)

(2) 提出物: (1)アブストラクトおよび(2)論文投稿票

使用言語は日本語または英語. 250字程度のアブストラクトを論文投稿票の当該欄に記入し,

(2)のみを期限までに下記送付先へ電子メールでお送りください.

(3) 採否と発表セッション日時(暫定)の連絡: 9月中旬

(4) 最終原稿(フルペーパー)の提出期限: 11月10日(金)

A4サイズ6ページ以内のフルペーパーを指定の様式に従ってご提出いただきます.

なお, 投稿票ならびに論文フォーマットは, ITS Japan ウェブサイト

http://www.its-jp.org/event/its_symposium/15th2017/に掲載します.

2. 参加登録料

・論文発表者参加登録料(投稿料を含む): 一般15,000円/学生8,000円

・聴講のみの参加登録料: 一般会員15,000円/一般非会員20,000円/学生3,000円.....11月29日(水)まで
一般会員18,000円/一般非会員23,000円/学生3,000円.....11月30日(木)より

3. 発表方法

一般投稿論文は査読の有無に関らず全て「対話型セッション」にて発表していただきます. 本セッションは, ポスターを作成していただき, ポスターの前で参加者と直接対話しながら議論を深めていただくものです. 後半の時間帯には, モデレータの司会による公開討議の時間を設け, さらに議論を深める工夫をする予定です. また数件のベストポスター賞を選考委員会によって選定・授与いたします.

4. 募集する論文の分野

ITSに関する基礎技術から応用技術まで, 幅広い分野の論文を募集します. 以下に代表的な分野を示します.

- | | |
|--|--|
| ◇ センサ技術
画像, レーザー, 誘導コイル, 超音波センサ,
およびこれらに基づく認識技術 | ◇ 交通制御
事象検出, 交通計測, 信号制御, 事故マネジメント |
| ◇ 通信技術およびアプリケーション
光ビーコン, 電波 DSRC, ETC, ナビゲーション | ◇ 交通計画
道路設計, 信号設計, 交通シミュレーション |
| ◇ 車両制御と自動運転
AHS, ACC, レーンキープ, 自動運転, 自動運行バス | ◇ 環境改善
車両技術, 交通管理技術, 情報サービス, 社会実験 |
| ◇ 安全性向上とヒューマンインタフェース
自動運転, 運転支援, 歩行者支援, シミュレータ,
ドライバーセンシング | ◇ 都市工学
都市空間モデリング, 都市計画 |
| ◇ 交通心理学
ドライバ心理, 歩行者心理, 消費者心理 | ◇ 交通政策, 交通経済
法令整備, TDM, ロードプライシング, プライバシー保護 |
| ◇ ITSシステムアーキテクチャ, ITSプラットフォーム | ◇ 情報コンテンツ, その他アプリケーション |

■ 第15回 ITS シンポジウム 2017

実行委員長: 安浦寛人(九州大学 理事・副学長)

プログラム委員長: 福田晃(九州大学)

同・副委員長: 峯恒憲(九州大学)

プログラム委員: 井上弘士(九州大学), 井上友二(トヨタ IT 開発センター), 今井龍一(東京都市大学),
浦正勝(西鉄情報システム), 大井尚司(大分大学), 小野晋太郎(HRI/東京大学),
合志和晃(九州産業大学), 是久洋一(九州大学), 志堂寺和則(九州大学), 辰巳浩(福岡大学),
仲条仁(ケー・シー・エス), 中西恒夫(福岡大学), 中野公彦(東京大学), 溝上章志(熊本大学),
森田均(長崎県立大学), 渡部康祐(日本工営)

■送付・問合せ先

ITS Japan 井出 晴子 (〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル)

TEL 03-5777-1013 / FAX 03-3434-1755 / E-mail h-ide@its-jp.org

